

WPI 6 拠点合同シンポジウム ～最先端の科学と君たちの未来～ (2011年11月12日)

WPI 各拠点の研究活動等を紹介する合同シンポジウム「世界トップレベル研究拠点プログラム (WPI) 6 拠点合同シンポジウム ～最先端の科学と君たちの未来～」が九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 (以下 I²CNER と称します) の主催により、福岡市の福岡銀行本店大ホールで開催されました。参加者は九州・山口を中心とした地域から、中高生や一般の方など約 600 名にのぼりました。

はじめに九州大学の有川節夫総長から開会の挨拶があり、続く基調講演では、WPI 黒木登志夫プログラムディレクターによる WPI の概要説明が行われました。さらに、I²CNER の Petros Sofronis 所長や同主任研究者の小江誠司教授のほか、WPI 5 拠点 (AIMR、IPMU、iCeMS、IFReC、MANA) の代表者がそれぞれの拠点、研究紹介を行うとともに、若い世代に向けた未来への夢や希望というメッセージを織り交ぜた講演を行いました。



東北大学 AIMR からは小谷元子副機構長が「夢に形を与える」という題名で講演し、スペースシャトルを事例に材料科学の重要性をわかりやすく説明しました。

各拠点の講演に続き、環境ジャーナリストの枝廣淳子氏がコーディネーターを務め、パネルディスカッションが行われました。質疑応答では、中高生から数々の質問がなされ、中高生とパネリストたちとの間で活発な議論が行われました。

各拠点のブース展示では、6 拠点の研究活動を紹介するポスターを掲示したり、スタッフによる口頭説明や簡単な実験の実演などが行われ、多くの参加者が集まりました。なかには講演者に積極的に質問する学生もおり、大盛況となりました。

AIMR では MANA との合同展示「楽しく体験！身近な材料科学」を行い、AIMR 池田進准教授による「偏光板を使って、材料の性質を調べる」というテーマのもと、参加者と一緒に体験実験を行いました。また、数学分野に興味がある中高生数名が小谷副機構長に熱心に質問する場面もみられました。同時に、本イベントの一環として実施されるアイデアコンテスト「未来へのチャレンジャー」の宣伝も行われました。

